



サウンド共聴システム ベータフォンⅡ
Sounds Sharing System β fon-Ⅱ

取扱説明書

ベータフォンⅡ FM 受信機
(β fon-Ⅱ FM Receiver)

MODEL BFR-265

KENZMEDICO

はじめに

この度は弊社製品をご購入いただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、ただしく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(⇒3)を必ずお読みください。
- 保証書は本書最後の頁にございます。「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

■本書内の表現について

- 参照していただくページを(⇒〇〇)で示しています。
- イラストや画面表示は実物とは異なる場合があります、ご了承ください。
- ベータフォンII FM 送信機は、単に「送信機」と記載しています。
- ベータフォンII FM 受信機は、単に「受信機」と記載しています。

■本機の特徴

本機は微弱電波を利用した FM 送信機及び受信機より構成され、簡単に様々なサウンド(音源)を共聴できるよう設計されています。

電波の届く範囲は半径5メートル程度ですが、条件によりさらに広い範囲でお使いいただける場合もございます。

※金属製などの遮蔽物などがあつたりした場合は届く範囲は狭くなりノイズ等も発生することもございます。

基本構成は送信機:1台に対して受信機:1台ですが、送信機及び受信機は規模に応じて1台単位で増設できます。

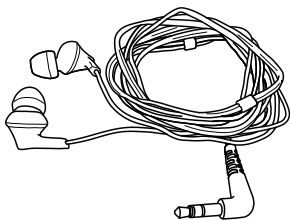
送信機は数か所同時に使用すると混信しますので、送信機及び受信機の周波数は7チャンネル設定できるように設計されております。従って最大7か所同時に使用できます。

もくじ

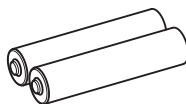
付属品 / 補充品	2
ご使用上の注意	3
各部の名称及び働き	4
操作手順	
通常動作	5
チャンネル設定	6
電池セット / 交換	7
仕様	
基本仕様	8
チャンネル番号と周波数の対応表	9
LCD の意味	9
故障かな? / お手入れ	10
保証書	11

付属品 / 補充品

付属品



イヤーフोन



単4アルカリ電池 ×2

＜送信機：チャンネル設定＞

①「GAIN」+「MODE」+「POWER」スイッチでエントリー

②「GAIN」または「MODE」スイッチでチャンネル変更

LED	チャンネル	1	2	3	4	5	6	7
○POWER				●	●	●	●	●
○BELL			●	●			●	●
○DIA		●		●		●		●

● 点滅





③「POWER」スイッチで終了




1265G003

必要に応じて本体裏面の
空きスペースに貼り付けて
お使いください

送信機チャンネル設定シール

ご使用上の注意

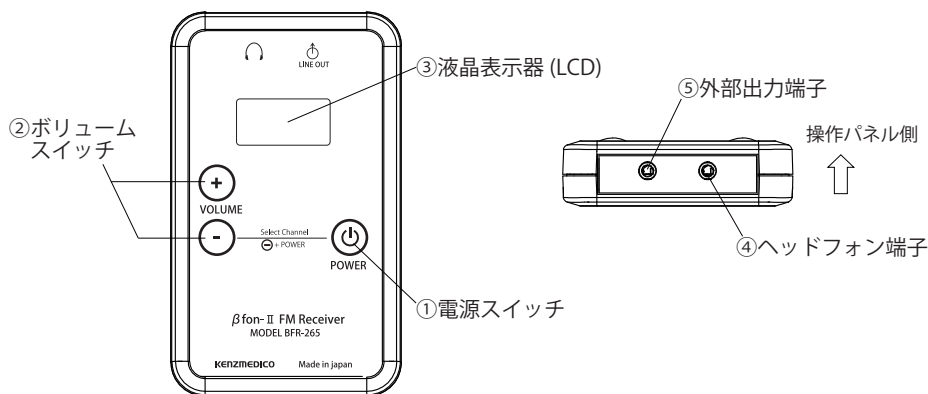
 警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。

 注意	
 電池をいれたまま長時間放置しないでください。	
 電池を交換する際は、必ず新品 2 本セットで交換してください。	

廃棄

廃棄する場合は、自治体の法令に従って廃棄してください。

各部の名称及び働き



名 称	働 き	
① 電源スイッチ	電源のオン及びオフ操作を行います。	組合せスイッチとして使用 下表参照
② ボリュームスイッチ	⊕ : 音量を上げます。 ⊖ : 音量を下げます。	
③ 液晶表示器 (LCD)	様々な状態を表示します。(⇒9)	
④ ヘッドフォン端子	付属の「イヤホン」を接続します。	
⑤ 外部出力端子	外部の録音機器などに接続します。(モノ出力)	

組合せスイッチ	動き
⊖スイッチ + 電源スイッチ	チャンネル設定 (⇒6)
⊕スイッチ + 電源スイッチ	自動オフ無効 (⇒5)

【詳細解説】

①電源スイッチ

電源をオン及びオフする場合は、長押し（2秒程度）で動作します。

②ボリュームスイッチ

音量を⊕と⊖スイッチで増減します。

音量は32段階(0-31)で調整でき、<0>は消音です。

③液晶表示器 (⇒9)

電池の状態、チャンネル番号、ボリュームの設定値及びタイマーカウンターなどを表示します。

④ヘッドフォン端子

付属の「イヤホン」を接続します。この端子はアンテナとしても使用されます。

⊘ 「外部出力端子」にイヤホンは接続しないで下さい。動作しません。

⑤外部出力端子

外部の録音機器等に録音する場合に使用します。

操作手順

受信機の基本操作を次に示します。

①通常動作

電源を入れて受信動作にします。

②チャンネル設定

送信機を数か所同時に使用する場合は、混信を防止するために任意の周波数（チャンネル1～7）に設定します。（⇒6）

□通常動作

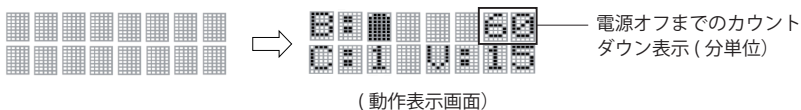
※電源を入れる前に「イヤホン」は接続しておいてください。

(1) 電源オン

電源をオンする方法は2パターン用意されています。二つの違いは自動電源オフを有効にするか、または無効にするかの違いです。以下はそれぞれの方法についての説明です。

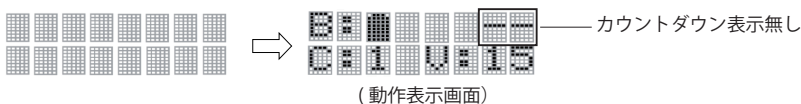
①自動電源オフ有効（通常）

「電源」スイッチを「LCD」に<動作表示画面>が表示されるまで長押し（2秒程度）します。



②自動電源オフ無効

「**+**」ボリュームスイッチを押しながら「電源」スイッチを押します。



(2) モニター開始

「FM 送信機」で聴取している音をモニターします。

※「**+**」**−**」ボリュームスイッチを操作して適切な音量に調整してください。

(注)①自動電源オフ有効（通常）で電源をオンした場合は自動的に1時間で切れます。

(3) 電源オフ

「電源」スイッチを<See You>が表示されるまで長押し（2秒程度）します。



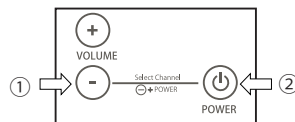
操作手順

□チャンネル設定

チャンネル設定は、電源を立ち上げる際に実行でき、次の手順で行います。

(1) 設定画面に移行

- ①「 \ominus 」スイッチを押した状態で②「電源」スイッチを押します。



(2) 設定表示

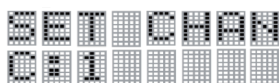
ステップ(1)により右図のような設定画面が表示されます。



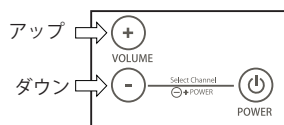
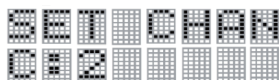
現在設定されている
チャンネル番号

(3) チャンネル番号設定

「 \ominus 」スイッチと「 \oplus 」スイッチで任意のチャンネル番号に設定します。



\ominus スイッチ ↑↓ \oplus スイッチ



動作は循環方式で、
<7> に達すると <1> に、
<1> に達すると <7> に戻ります。

(4) 設定終了

- ②「電源」スイッチを押します。

設定チャンネルは記録され、「通常動作 - (1) 電源オン」直後の動作に移行します。

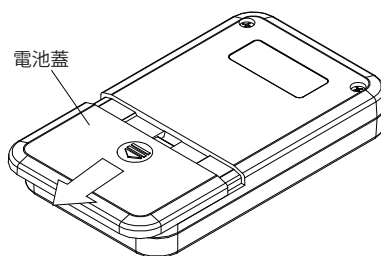
※次回電源をオンした際は、記録したチャンネル番号で動作します。

電池セット／交換

□電池セット

(1) 電池蓋を取り外す

「電池蓋」の両脇を両手の親指で押さえてスライドさせます。

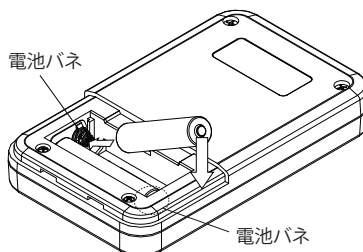


(2) 電池をセット

「電池バネ」に「電池 ⊖」を押しつけてそこを始点に回転させるように「電池 ⊕」をセットします。

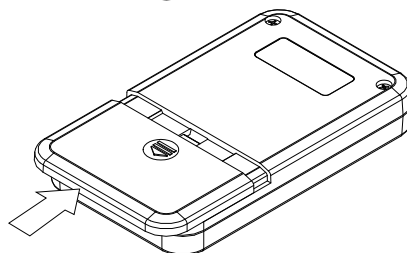


電池の極性



(3) 電池蓋の取り付け

「電池蓋」を本体にセットしてスライドして押し込みます。



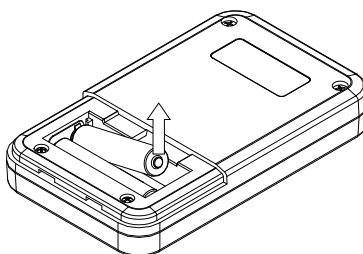
□電池の交換

(1) 電池の取外し

「電池」を取り外す際は、「電池 ⊕」側を必ず先に引き上げてください。

(2) 電池のセット

□電池のセットと同じ要領でセットしてください。



・電池は必ず新品2本セットで交換してください。

仕 様

■基本仕様

項 目		仕 様 等	出荷時
外 観 / 重 さ		縦 (H) : 115 mm 横 (W) : 69 mm 高さ (H) : 19.5 mm / 120g (電池含む)	
環 境	使 用	温度 : 10 ~ 40 °C 湿度 : 15 ~ 85 %RH (結露なきこと)	
	輸送・保管	温度 : -20 ~ 60 °C 湿度 : 95 %RH 以下 (結露なきこと)	
電氣的定格	電 源	DC 3V (単 4 形アルカリ乾電池 × 2)	
	消費電流	44mA (54mA) () 内はスイッチ操作によるバックライト点灯時	
	動作時間	約 18 時間 (通常は、1 時間で電源オフ)	
受信周波数		100MHz から 200KHz ステップで最大 7 波 (⇒9) FM モノラル	
ヘッドフォン端子		φ3.5 ステレオミニジャック (3 極または 4 極) 60mW (RL=32Ω または RL=16Ω) ステレオ出力 (ただし、L-R チャンネル 同一) グラウンド線 : アンテナ兼用	
ライン出力		φ3.5 ステレオミニジャック (モノラル出力 : L チャンネルのみ) 出力インピーダンス : 200Ω 最大 ±1.5Vpp 出力	
表 示		液晶表示器 (LCD) 8 文字 × 2 行 バックライト付	
操 作 スイッチ	POWER	電源のオン及びオフ操作を行う「電源」スイッチ。	
	VOLUME	音量を 0 ~ 31 までの 32 段階で設定できます。 「⊕」スイッチ : 音量を上げる。 「⊖」スイッチ : 音量を下げる。	15
チャンネル設定		「⊖」スイッチ + 「POWER」スイッチで任意に設定 (⇒9) チャンネル : 1 ~ 7 (合計 : 7 チャンネル)	1
その他 の機能	設定記録	<VOLUME> 及び <チャンネル番号> は最後に設定された状態が記録されます。	
	電源オフ無効	「⊕」スイッチ + 「電源」スイッチで自動電源オフを無効にします。	

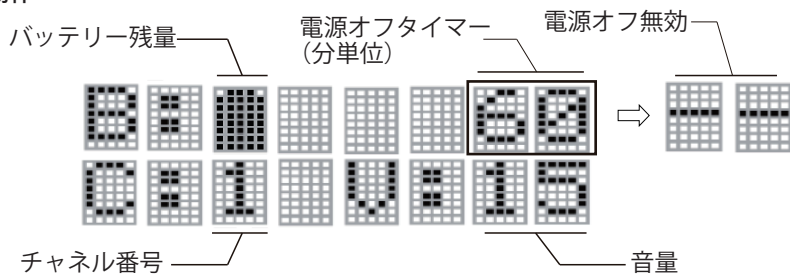
仕様

■チャンネル番号と受信周波数の対応

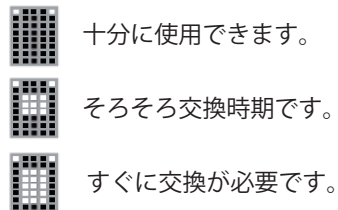
チャンネル番号	周波数 (MHz)	チャンネル番号	周波数 (MHz)
1	100.0	5	100.8
2	100.2	6	101.0
3	100.4	7	101.2
4	100.6		

■LCDの意味

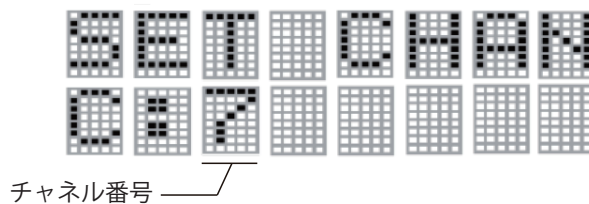
通常動作



バッテリー残量の状態



チャンネル設定



故障かな? / お手入れ

□故障かな?


症 状	対 策
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">• 電池を交換してください。• 電池の極性を確認してください。
音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none">• 全ての受信機で聞こえない場合は送信機のチャンネル番号を確認してください。• 特定の受信機のみ聞こえない場合は受信機のチャンネル番号を確認してください。
ノイズが多い	<ul style="list-style-type: none">• 電波を遮るような金属製の遮蔽物はありませんか?• 送信機と受信機の距離が離れ過ぎていませんか? 5 m以内が目安ですが、場所によってはノイズが発生することもあります。少し移動してみてください。• 送信機のバッテリーまたは受信機の電池の交換記号は表示されていませんか?• 混信してるかもしれません。 送信機及び受信機のチャンネル番号を別なチャンネルに設定してみてください。• イヤーフォンの線は丸めてないですか?
※対策を行っても改善しない場合は、購入した販売店様にご連絡ください。	

□お手入れ

ご使用後は清掃を行い、適切な環境 (⇒8) で保管してください。

汚れたままで放置すると不衛生で故障の原因にもなります。

清掃・消毒を行う際は、下記に示した内容に注意して作業を行ってください。

	<ul style="list-style-type: none">• ガス滅菌等による消毒は絶対に行わないでください。• 活性ガス (消毒用ガス等も含む) 環境や高温・多湿環境等で絶対に使用・放置しないでください。• シンナー等の有機溶剤、ポビドンヨードでは絶対に拭かないでください。• ドライヤー等の熱風で絶対に乾燥しないでください。
---	--

清 掃

- 本体は、ガーゼ等の柔らかい布を水またはぬるま湯に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。
- 本体内部に、水や消毒液が浸入しないように水気をよく切ってから清掃してください。
- 乾燥は乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、自然乾燥してください。

保 証 書

此の度は、弊社の製品をお買い上げ頂き有難うございました。
 未永く御愛用の程、お願い致します。弊社は、下記の通り製品保証を致しておりますので、この保証書は大切に保管してください。

※お買い上げ日	年 月 日
保 証 期 間	お買い上げ日より 1年間
※施 設 名	
氏 名	
※住 所	〒
※電話番号	
製 品 名	ベータフォンII FM受信機セット (0265B001) 製造番号
※販売店名 住 所 TEL/FAX	

販売店様へ ※印の欄を必ず記入してからお渡し下さい。

保証規定

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ日より1年以内に故障した場合に無償修理致します。
2. 無償修理期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
 - (ニ) 本書の提示がない場合。
 - (ホ) 本書にお買い上げ日、ご使用者名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ヘ) 故障の原因が本品以外に起因する場合。
 - (ト) その他取扱説明書（本書）に記載されていない使用方法による故障および損傷。
3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。
4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
 したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

発売元

お問合せ先

埼玉県本庄市児玉町共栄5 5 2番地1 〒367-0206
 TEL(0495)71-1001 FAX(0495)72-6716
 ホームページ <http://www.kenzmedico.co.jp>

※都合により仕様及び外観等を変更する場合があります。予めご了承ください。
 ※許可なく複写、複製することを禁じます。